
聞こえる？

直江 アキ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

聞こえる？

【Nコード】

N3068B

【作者名】

直江 アキ

【あらすじ】

ずって好きだった友達の『君』に伝えたかったこと。もう会うことも話すことも叶わないのに……『僕』の後悔と懺悔を、そしてこの気持ちが君に届くといい。天国の

（前書き）

後悔だけはしたくない、と日々思っています。

「……今、何か」

僕の言葉は上っ面だけを撫でて、本当に言いたい事は喉より外に出てはこない。

友達という曖昧な関係。

ずっとソレが居心地が良かった。

甘えていた。

二人で過ごす時間は大切に、何にも替えがたく。けれど、気持ちに薄い膜を被せて、見えないように。見ないように。

そうして、目を背けてきた。

これは罰だろうか？

真剣に生きてこなかった僕への天罰なのか？

そう……かもしれない。

もう二度と話すことは出来ない。

北風に晒されて、目尻に溜った涙が冷たくなっていく。

「好きだ」

口をついて出た、僕の初めての本音。

聞こえる筈がない。

「ずっと好きだった……」

死んでしまってからじゃ遅いよな？

わかってる。

生きている時に言えばよかった。

そうしたら温かい君を抱き締められたかもしれない。温かい体温を感じることが出来たかもしれない。

怖い、なんて言わずに。二人で気がねなくいられた時に。今みたいに口に出せばよかったんだ。

もう通夜も葬式も済んで、真っ白い、砕けた骨になって。聞こえている筈がない。

ただ、逃げていた自分が嫌になる。

「……何をやってたんだ」

あれから一年。

やっと一周忌。

世界が変わった。

忘れられると思ったたりもした。だけど、後悔で、懺悔でいっぱいだ。

たかだか一年。

やはり君に伝えればよかった、と思う僕がいる。

天国でも思い出したりするのだろうか？

忘れてしまうのだろうか？

きっと白紙になって、次の生を歩むんだろう。

そうしたら君は僕を忘れてしまう。

僕だけが、囚われたまま。

やはり天罰なのだ。

逃げてばかりの僕への。

本音を伝えきれなかった僕への。

ゆらりと存在が霞む。

君に聞こえるならば、叫びたい。

「好きだ」

「……今、何か」

聞こえた気がした。

なんだか、やっと、通じたような気持ちになって。
黒い墓石の前で、私は静かに手を合わせた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3068b/>

聞こえる？

2010年12月29日15時32分発行